

粉体工学情報センターの歩み

History of The Information Center of Particle Technology



村田 博*
Hiroshi Murata

粉体工学情報センターって聞いたことはあるけれども何をやっているの？などと思われる方も多いのではないかと思います、この紙面をお借りしてその歩みと現在の事業について紹介させていただきます。

粉体工学情報センター（英文名 The Information Center of Particle Technology）は、1985年8月に現在の株式会社日清製粉グループ本社とそのグループ会社である日清エンジニアリング株式会社が援助して設立された任意団体です。設立時の理事には井伊谷鋼一先生、青木隆一先生、井上外志雄先生、神保元二先生、外山茂樹先生など日本の粉体工学の歴史を作られた先生方が名を連ね、ここに日清製粉グループの役職者が数人加わって運営することになりました。センター設立の目的は、「21世紀における日本の粉体工学が世界の最先端化を実現するために研究者に有用な情報を提供する」ということで、当時の先生方の強い思いに日清製粉グループが賛同し、設立されました。そしてスタートした主な事業は、以下の3つでした。

1. 粉体工学文献検索システム（FBKS）の運営及び情報媒体（フロッピーディスク）の制作および頒布
2. 粉体工学研究支援システムの開発
3. 粉体工学関連図書資料の収集、保管、提供

FBKSをご存じの方は少ないでしょうが、当時は世界の粉体工学に関する文献を検索しやすいように8インチのフロッピーディスクに文献名とアブストラクトを収録し、粉体工学の研究者に販売していました。今もこのフロッピーディスクをお持ちの方がいたらお宝？になるかもしれません（ならないとは思いますが）。粉体工学研究支援システムは、研究者人名録や粉体関係企業録の作成、粉体機器データベースの作成を目的としましたが、残念ながら本格的な事業化には至りませんでした。図書資料については、当時入手できないような国内外の図書や文献を収集し、研究者から検索依頼があれば提供するというを行っていました。井伊谷先生や青木先生が大切にされていた図書の一部は、現在も日清エンジニア

リングに保管されています。情報センターという名称は、このように粉体工学関連の情報の収集と発信を目的とするという趣旨から命名されました。しかし、粉体工学の情報をフロッピーで提供するという事業はそのニーズを失い1994年に終了し、センターの役割は研究者の研究活動の支援に重点を置くようになりました。その一つに1989年に制定された粉体工学情報センター学術奨励賞（IP奨励賞）があります。IP奨励賞は、これまでの研究実績と将来性のある優秀な45歳以下の若手研究者に対して授賞しています。日本粉体工業技術協会、粉体工学会、日本エアロゾル学会の3団体から候補者を推薦していただき、厳正なる審査を経て毎年1名に賞状と記念メダルおよび100万円の副賞を授与しています。この賞は2023年度までに36名の研究者が受賞し、現在も継続しています。同時期に海外交流事業として東アジア情報交換会議への補助も開始し、2005年まで続けました。また、粉体工学会英文誌（Advanced Powder Technology）への支援は、1994年から開始され2007年まで続けました。

現在の主な事業はIP奨励賞に加え、研究助成、若手研究者行事補助の3事業ですが、研究助成と若手研究者行事補助は2005年から行っています。研究助成は、当初年間2件で1件当たり100万円を3年間継続して助成することで開始しました。しかし、それでは1年に2件しか助成できないため改定し、年間4件で2年継続となり、さらに2011年からは年間8件で1年間、その後、応募件数も増えたことから2018年からは年間10件以内で1年間の助成とし、その枠を広げています。応募件数は年度によって異なりますが、近年は30～40件で推移しています。募集する研究主題は、食品粉体に関わる研究と粉体単位操作に関わる基礎研究の2テーマとしており、これによって粉体工学情報センターの助成方針を示しています。若手研究者行事補助については、粉体工学会と日本エアロゾル学会が開催する若手勉強会を対象にしています。また、粉体工学会のBP賞と日本エアロゾル学会の井伊谷賞に対しても補助しています。

このように粉体工学情報センターの役割は、設立当初の粉体工学関連の情報の収集と発信という事業から粉体工学の若手研究者や基礎的研究を支援するセンターとして変遷しました。しかしながら、日本の粉体工学の世界最先端化を実現するという基本理念を守り、次世代の研究者の方々のために尽力していく、という大方針は変わっていません。今後も当センターが多くの研究者に役立つよう活動してまいります。

（著者紹介）

1980年 横浜国立大学 工学部 化学工学科 修士課程終了。同年、日清製粉（株）に入社。
1995年 同社 生産技術研究所 粉体研究室長
1997年 日清エンジニアリング(株) 開発部長
2005年 同社 取締役 上福岡事業所長
2011年 同社 常務取締役 技術管理部長
2015年 同社 取締役社長
2023年 兼 粉体工学情報センター理事長

* 連絡先 murata.hiroshi@nisshin.com